

事業シート(令和6年度決算)

34_都市計画課.xlsx_1

事業名	21600 総合交通対策事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	都市基本計画、地域公共交通計画、過疎地域持続的発展計画	
					款	2	総務費			ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり			
					項	1	総務管理費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約		
					目	17	総合交通対策費			施策分野	(2)	公共交通			
担当課	都市政策部 都市計画課			内線	2363										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・路線の充実や円滑な乗り継ぎなど、利便性の高い公共交通を確保する。 ・将来にわたって、持続可能な公共交通サービスを提供する。	概要	・効率的で利便性の高い地域公共交通システムの構築 ・地域バス(のらマイカー)、中心市街地バス(まちなみバス)、観光特化型バス(匠バス)の運行 ・事業者や関係団体との連携による公共交通利用促進策の展開 ・同盟会活動による高山本線の輸送力強化やリニア中央新幹線の建設促進
----	---	----	--

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		317,081	312,946	316,831	319,831	305,539	△ 7,407
特定財源	国費 (地域公共交通確保維持改善事業 1/2)	1,500	0				
	県費 (自主運行バス運行費 1/4、1/3)	26,000	31,243	27,000	27,000	32,129	886
	その他(夢・まちづくり基金繰入金、飛騨高山ふるさと基金繰入金 等)	234,500	232,501	265,000	265,100	257,100	24,599
一般財源		55,081	49,202	24,831	27,731	16,310	△ 32,892
新規・拡充	主な事業内容						
	バス運行事業	275,000	275,645	282,000	282,000	273,761	△ 1,884
	交通空白地有償運送に対する助成	13,000	12,015	13,000	13,000	12,344	329
	公共交通利用促進のための助成	12,100	12,016	12,000	15,000	15,005	2,989
	公共交通におけるDXの推進	5,000	1,927				△ 1,927
	地域公共交通計画策定に向けた調査	9,000	8,994				△ 8,994
○ 1	公共交通の見直し			7,250	7,250	2,133	2,133

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・自主運行バス等延べ利用者数 のらマイカー 114,455人、まちなみバス 40,354人、たかね号 2,058人 ・匠バス(さるぼぼバスを含む)の運行 延べ利用者数 112,588人 ・高山市公共交通活性化協議会の開催 4回 ・利用促進策の実施(のりものラリーの開催、時刻表・企画切符作成ほか) ・交通空白地有償運送事業を実施する地域団体に対する助成 ・公共交通利用促進のための助成(高齢者、若年者等に対するバスポート発行、匠バス(観光特化型バス)利用者の駐車場利用料割引など) ・新たな公共交通手段の導入(のらマイカー東西南北線へのバス位置情報システムの導入、飛騨高山まちの博物館にバスの運行情報掲示板を設置) ・地域公共交通計画策定にかかる調査	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定
評価等	・匠バス(観光特化型バス)等を活用したのりものラリーなどの利用促進策や、のらマイカーの運行見直しなどの効果もあり、のらマイカー、まちなみバス、たかね号及び匠バスの延べ利用人数が前年度比で約77,000人増加した。 ・引き続き、利用実態の把握・検証により、運行の見直しやデマンド運行の検討など、利便性に配慮しつつ効率性の向上を図るとともに、利用促進を図る必要がある。	
次年度以降の考え方(担当課)	・のらマイカー等について、運行エリアや路線、ダイヤを含めた運行方法の見直しや少量輸送体制の検討、新たな公共交通手段の導入などにより、効率的で利便性の高い地域公共交通システムの構築に取り組む。 ・利用促進策の実施(のりものフェスタの開催)に取り組む。 ・地域公共交通計画に基づき、のらマイカー等の運行見直しに向け調整をする。	

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・自主運行バス等延べ利用者数 のらマイカー 119,921人、まちなみバス 42,470人、たかね号 2,081人 ・匠バス(さるぼぼバスを含む)の運行 延べ利用者数 139,695人 ・高山市公共交通活性化協議会の開催 6回 ・利用促進策の実施(のりものフェスタの開催、時刻表・企画切符作成ほか) ・交通空白地有償運送事業を実施する地域団体に対する助成 ・公共交通利用促進のための助成(高齢者、若年者等に対するバスポート発行、匠バス(観光特化型バス)利用者の駐車場利用料割引など) ・公共交通におけるバス路線・時刻表の見直し	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定
評価等	・ヤングバスポートによる高校通学利用や、GTFS(時刻表や停留所などのオープンデータ)の整備で地図アプリを利用した公共交通のルート検索が可能となったことなどにより、のらマイカー、まちなみバス、たかね号及び匠バスの延べ利用人数が前年度比で約35,000人増加した。 ・引き続き、利用実態の把握・検証により、運行エリアや運行方法の見直しの検討など、利便性に配慮しつつ効率性の向上を図るとともに、利用促進を図る必要がある。	
次年度以降の考え方(担当課)	・のらマイカー等について、運行エリアや路線、ダイヤを含めた運行方法の見直しや少量輸送体制の検討、新たな公共交通手段の導入などにより、効率的で利便性の高い地域公共交通システムの構築に取り組む。 ・利用促進策の実施(のりものフェスタの開催)に取り組む。 ・地域公共交通計画に基づき、のらマイカー等の運行見直しに向け調整をする。	

34_都市計画課.xlsx_1

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
市民1人当たりの地域公共交通(まちなみバス、のらマイカー、たかね号)年間利用回数	2.68回	2.95回	2.50回
「日常的に利用できる公共交通体系が整っている」と感じている市民の割合	44.5%	45.4%	↗

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	325,121
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
408,221	325,121	325,121	8,290
27,000	27,000	27,000	0
		195,490	△ 69,510
381,221	298,121	102,631	77,800
査定額	説明		
307,600			
13,000			
1,500			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・自主運行バス事業の実施に必要な経費を計上 ・デマンドタクシーに対する運行支援システムの導入に必要な経費を計上 ・幹線バスに対するバスロケーションシステムの導入に必要な経費を計上 ・市民乗車バスの制度拡充に係る経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・デマンドタクシーに対する運行支援システムの導入および幹線バスに対するバスロケーションシステムの導入は0査定 ・市民乗車バスの制度拡充について、拡充せず既存内容で査定
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

21600

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	21600 総合交通対策事業費	区分	☒ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	都市計画課
			☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	2	総務費		
枝番・内容	1 公共交通の見直し		☐ その他重要事業			項	1	総務管理費		
			☐			目	17	総合交通対策費		
									内線	2363
									作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・持続可能な公共交通の形成	概要	・令和6年度に策定した地域公共交通計画に基づき、バス路線の詳細なルート、時刻表、車両及び運転手の確保について運行事業者と調整を進め、公共交通の見直しを行う。 ・公共交通の見直しに伴い、停留所の時刻表、家庭に配布する時刻表を作成する。
----	---------------	----	---

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点

(千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点

(千円)

予算額	当初	7,250
主な経費	・委託料(バス運行路、バス時刻表の改定)	
	・印刷製本費(バス停時刻表及び配布用冊子の作成)	
対前年度増減額(当初予算)		7,250

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点

(千円)

予算額	当初	7,250
	繰越	
	補正等	
	最終	7,250
決算額		2,133
対前年度増減額(決算)		2,133

R7当初予算(Action)

(千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・地域公共交通計画に基づき、バス路線の詳細なルート、時刻表、車両及び運転手の確保について運行事業者と調整を進め、令和7年4月からの公共交通の見直しを行う。	
[スケジュール] ・R6.4～ ルート及び発着時間(案)の作成開始 ・R6.7～ 運行事業者との協議 ・R6.10～ 路線別時刻表の作成 ・R7.2～ バス停時刻表、配布用時刻表の作成・配布 ・R7.4～ 見直し路線での運行開始	

事業実績、評価等		
[事業実績] ・のらマイカーの見直し 丹生川、国府地域におけるバス車両からタクシー車両への変更 利便性向上のため、停留所の移設 ・停留所の時刻表の張替 ・家庭用時刻表の印刷・配布		
[評価等] ・運行する車両について、バス車両からタクシー車両に変更を行い、路線の維持を行った。 ・引き続き、市民の移動を確保するため、利便性が高く効率的な運行方法について検討をする必要がある。		
次年度以降 の考え方 (担当課)	・引き続き、地域公共交通計画に基づき、地域公共交通の見直しを進める。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業シート(令和6年度決算)

事業名	74100 都市計画推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	都市基本計画、中心市街地活性化基本計画
			款	7	土木費			ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり		
			項	4	都市計画費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	
			目	1	都市計画総務費			施策分野	(1)	土地利用・都市計画		
担当課	都市政策部 都市計画課	内線	2363									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・都市の健全な発展と秩序ある整備を図る。	概要	・都市計画制度の活用等により土地利用の規制・誘導、都市施設の整備(計画)などを実施する。
----	----------------------	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
「保全と開発のバランスのとれた秩序ある土地利用が行われている」と感じる市民の割合	28.9%	28.9%	↗
「町並み景観や農山村景観など地域の美しい景観が保たれている」と感じる市民の割合	73.4%	76.1%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		23,316	21,080	21,232	21,232	14,750
						△ 6,330
特定財源	国費 ()					
	県費 (県移譲事務交付金)	5,430	5,652	30	30	30
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金、宿泊税 等)	10,000	14,000			△ 14,000
一般財源		7,886	1,428	21,202	21,202	14,720
						13,292
新規・拡充	主な事業内容					
	都市計画審議会	445	186	415	415	0
	景観まちづくり刷新支援事業の事後評価					
	景観等ガイドラインの作成					
	都市計画基礎調査	22,000	20,240			△ 20,240
○ 1	車両流入抑制事業			15,400	15,400	10,171
○ 2	駐車場整備計画策定			4,000	4,000	3,960

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・都市計画施設等の都市計画変更 ・都市計画基礎調査の実施 ・中心市街地活性化基本計画の策定
評価等	・都市計画区域内の土地利用状況の把握を行った。 ・中心市街地における課題を整理し、改善のための新規事業を検討した。
次年度以降の考え方(担当課)	・必要な都市計画決定・変更の手続きを実施する。 ・中心市街地への車両流入抑制を行うための実証実験を実施するとともに、駐車場の配置について調査検討を行う。 ・景観計画の見直しを行う。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・車両流入抑制事業(中橋周辺への大型バス流入抑制の実証実験)の実施 ・駐車場整備計画策定のための駐車場実態調査の実施
評価等	・中橋周辺への大型バス流入抑制の実証実験により、歩行者と自動車の安全の確保状況や古い町並周辺への影響を確認し、今後の方向性を示した。 ・駐車場整備地区およびその周辺において実施した路外駐車場の実態調査を踏まえ、駐車場整備計画を策定した。
次年度以降の考え方(担当課)	・実証実験の結果を踏まえ、中橋周辺における歩行者の安全確保のため、観光バスの中橋での一方通行を令和7年4月1日より試行し、本格運用に繋げる。 ・策定した駐車場整備計画に基づき、各施策を実施し、市街地の道路交通の円滑化に繋げる。 ☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	33,171
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
19,664	32,371	33,171	11,939
30	30	30	0
		14,500	14,500
19,634	32,341	18,641	△ 2,561
査定額	説明		
365			
9,600			
21,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・景観まちづくり刷新支援事業の事後評価に必要な経費を計上 ・景観等ガイドラインの策定に必要な経費を計上 ・車両流入抑制事業に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・景観等ガイドラインの作成および車両流入抑制事業は内容を精査
市長査定 の考え方	・積算内容を精査 ・景観等ガイドラインの作成については内容整理のため見送り

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	74100都市計画推進事業費	区分	☒ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	都市政策部 都市計画課
			☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	7	土木費		
枝番・内容	1車両流入抑制事業		☐ その他重要事業			項	4	都市計画費	内線	2363
			☐			目	1	都市計画総務費	作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・市街地中心部への大型バスの流入を抑制することで、歩行者の安全な歩行空間を確保する。	概要	・市街地中心部への大型バスの流入を抑制するため、市営神明駐車場のバス区画を廃止する実証実験を行う。
----	--	----	---

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点

(千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点

(千円)

予算額	当初	15,400
主な経費	・委託料(交通誘導員、誘導看板設置等) ・印刷製本費(チラシ制作)	
対前年度増減額(当初予算)		15,400

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点

(千円)

予算額	当初	15,400
	繰越	
	補正等	
	最終	15,400
決算額		10,171
対前年度増減額(決算)		10,171

R7当初予算(Action)

(千円)

予算額	当初	21,000
主な経費	・委託料(交通誘導員、誘導看板設置)	
対前年度増減額(当初予算)		5,600

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・中橋周辺における大型バスの車両流入抑制対策として、市営神明駐車場のバス区画廃止の実証実験を行う。	
[スケジュール]	
R6.6～8 実証実験の実施 R6.9～ 結果の分析、本格運用の検討	

事業実績、評価等	
[事業実績]	
・中橋周辺への大型バス流入抑制の実証実験を実施(R6.6.15～R6.7.15) ・実証実験結果及び今後の取り組みに関する説明会開催(R6.12) ・観光バスの動線を一方通行とする試行のための説明会開催及び準備(R7.3)	
[評価等]	
・中橋周辺への大型バス流入抑制の実証実験により、歩行者と自動車の安全の確保状況や古い町並周辺への影響を確認し、令和7年度の車両流入抑制事業の方法について決定することができた。	
次年度以降 の考え方 (担当課)	・観光バスの中橋での一方通行をR7.4.1より試行し、本格運用に繋げる。 ☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・R6年度に実施した市営神明駐車場のバス区画廃止の実証実験を踏まえ、R7年度より市営神明駐車場への観光バスの動線を高山陣屋から中橋方面への一方通行(自主規制)とする試行運用を行う。	
[スケジュール]	
R7.4～ 試行運用	

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	74100	都市計画推進事業費	区分	☒ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	都市計画課
				☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	7	土木費		
枝番・内容	2	駐車場整備計画策定		☐ その他重要事業			項	4	都市計画費	内線	2363
				☐			目	1	都市計画総務費	作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・市街地における駐車場の現状と課題を調査分析し、市の駐車場の配置方針を決定する。	概要	・駐車場整備地区内にある全ての時間貸駐車場の状況を調査する。 ・駐車場整備区域内における駐車場の需給バランスや課題を整理し、駐車場の配置方針を決定する。
----	--	----	---

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点

(千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点

(千円)

予算額	当初	4,000
主な経費	・委託料(駐車場の利用状況等の調査)	
対前年度増減額(当初予算)		4,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点

(千円)

予算額	当初	4,000
	繰越	
	補正等	
	最終	4,000
決算額		3,960
対前年度増減額(決算)		3,960

R7当初予算(Action)

(千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・時間帯別利用状況(平日・休日)を調査 ・駐車場整備区域内の駐車場の需給バランス、将来予測、課題を整理 ・市の駐車場整備方針を決定	
[スケジュール] R6.4～ 調査準備 R6.6～ 基礎調査(駐車可能台数など)、利用状況調査(平日・休日) R6.11～ 駐車場の状況及び課題の整理、整備方針の検討 R7.3 駐車場整備計画の策定	

事業実績、評価等	
[事業実績] ・時間帯別利用状況(平日・休日)を調査 ・駐車場整備区域内の駐車場の需給バランス、将来予測、課題を整理	
[評価等] ・市街地の路外駐車場の需給バランスを把握するとともに、市の駐車場整備方針を定める駐車場整備計画を策定した。	
次年度以降 の考え方 (担当課)	・策定した駐車場整備計画に基づき、各施策を実施し、市街地の道路交通の円滑化に繋げる。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業シート(令和6年度決算)

34_都市計画課.xlsx_6

事業名	74500 緑地保全推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	緑の基本計画、過疎地域持続的発展計画
			款	7	土木費			ポイント	(2)	快適で安全な環境づくり		
			項	4	都市計画費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	
			目	4	景観保全総務費			施策分野	(1)	土地利用・都市計画		
担当課	都市政策部 都市計画課	内線	2313									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・潤いやすらぎを感じることができる緑豊かな環境の保全・創出・活用を推進し、市民誰もが緑の恵みを受けることができる環境を整備する。 ・緑化意識の高揚を図る。	概要	・施設緑化用苗木の配布、緑と親しむ日等におけるイベントの開催 ・間伐等による適正管理 ・里山保全に協力する所有者の拡大と奨励金の交付 ・市指定保存樹等の管理に対する助成
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
緑と親しむ日等を実施したイベント参加人数	565人	565人	－

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		5,620	4,983	5,660	5,660	4,886
						増減(b)-(a)
特定財源	国費()					△ 97
	県費()					
	その他(緑の基金収入、緑の基金繰入金)	2,498	1,487	2,494	2,494	1,367
一般財源		3,122	3,496	3,166	3,166	3,519
新規・拡充						23
主な事業内容						
	緑地保全に対する助成	2,300	2,324	2,300	2,300	2,324
	指定保存樹等管理に対する助成	1,000	896	1,000	1,000	877
	市民ハイキング	300	159	300	300	201
	樹木の管理	500	306	500	500	118
	里山林の整備	500	484	500	500	424

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	7,980
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
6,120	7,980	7,980	2,320
1,938	2,000	2,048	△ 446
4,182	5,980	5,932	2,766
査定額	説明		
2,300			
1,000			
300			
500			
2,500			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・松倉山、城山ハイキングウィークの実施 6月1日～11日 565人 ・里山保全に協力する所有者に対して奨励金を交付 71件 ・市指定保存樹等の管理に対する助成 14件
評価等	・緑と親しむ日等を実施するイベントは、前年度と同様に期間開催するとともに、松倉山と城山コースの2コースで実施、前年度に比べ天候等の影響により参加人数は減少という結果となった。より多くの市民が参加しやすい方法や時期などの検討が必要である。 ・里山保全のための所有者への奨励金交付や里山の取得について、効果を検証するとともに、新たな保全方法についての検討が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	・緑と親しむ日等を実施するイベントについて、期間を設けての実施方法は継続するが、期間の設定やあらたな箇所やコースでの実施を検討する。 ・緑地保全のための里山の取得や奨励金のあり方について検討する。 ・保存樹等の管理のため、引き続き助成を行う。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・松倉山、城山ハイキングウィークの実施 6月1日～9日 565人 ・里山保全に協力する所有者に対して奨励金を交付 71件 ・市指定保存樹等の管理に対する助成 13件
評価等	・緑と親しむ日等を実施するイベントは、前年度と同様に期間開催するとともに、松倉山と城山コースの2コースで実施、スタンプの設置箇所を増やすなど内容を少し変更したが天候等の影響もあり参加人数は同じで城山が増加、松倉が減少という結果となった。より多くの市民が参加しやすい方法や時期などの検討が必要である。 ・里山保全のための所有者への奨励金交付や里山の取得について、効果を検証するとともに、新たな保全方法についての検討が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	・緑と親しむ日等を実施するイベントについて、期間を設けての実施方法は継続するが、期間の設定やあらたな箇所やコースでの実施を検討する。 ・緑地保全のための里山の取得や奨励金のあり方について検討する。 ・保存樹等の適正な管理のため、引き続き助成を行う。

担当課 予算要求 ポイント	・緑の普及啓発や里山の景観を保全するための整備に必要な経費を計上 ・全国都市緑化ぎふフェア(花壇ブースの設置)に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・里山の購入にかかる経費を計上
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

34_都市計画課.xlsx_6

74500

事業シート(令和6年度決算)

34_都市計画課.xlsx_7

事業名	74510 景観保全奨励事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	景観計画、歴史的風致維持向上計画、過疎地域持続的発展計画
			款	7	土木費			ポイント			
			項	4	都市計画費		分野別	政策分野	3		市長公約
			目	4	景観保全総務費			施策分野	(3)		
担当課	都市政策部 都市計画課 建築住宅課	内線	2313								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市街地景観保存区域における保存活動への支援や景観形成に資する事業への助成などにより、美しい景観の保全・創出を図る。	概要	・景観保存活動や美しい景観形成に資する修理・修景に対する助成の実施 市街地景観保存区域保存会補助金、市街地景観保存区域建造物修景事業補助金、景観重要建造物修景事業補助金、景観形成事業(塀等設置)補助金、高山の景観にふさわしい看板補助金、生け垣等設置補助金、一般開放型便所改修補助金
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
「町並み景観や農山村景観など地域の美しい景観が保たれている」と感じる市民の割合	73.4%	76.1%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		20,351	9,439	20,340	20,340	11,425
特定財源	国費 (街なみ環境整備事業費 1/3)	5,230	1,104	5,230	5,230	1,560
	県費 (県移譲事務交付金)	30	30	30	30	30
	その他()					
	一般財源	15,091	8,305	15,080	15,080	9,835
新規・拡充	主な事業内容					
	市街地景観保存会に対する助成	1,611	1,231	1,600	1,600	1,231
	景観形成、生けがき等設置に対する助成	2,270	425	2,270	2,270	528
	高山の景観にふさわしい看板の設置等に対する助成	1,800	251	1,800	1,800	368
	景観重要建造物の修景等に対する助成	2,000	0	2,000	2,000	0
	市街地景観保存区域建造物の修景等に対する助成	12,000	7,294	12,000	12,000	9,013

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・市街地景観保存区域保存会補助金 11件 ・景観重要建造物修景事業補助金 0件 ・市街地景観保存区域建造物修景事業補助金 6件 ・高山の景観にふさわしい看板補助金 4件 ・景観形成事業(塀等設置)補助金 2件 ・生け垣等設置補助金 1件
評価等	・各種補助制度を活用した修理・修景事業等により、景観の保全や改善が図られた。 ・市街地景観保存区域建造物修景の件数は増加したが、景観重要建造物については実施事業がなかった。 ・景観形成事業(塀等)や生け垣等設置に対するR4の助成対象範囲の見直しや、ブロック塀の助成がなくなったことにより、件数が少なくなっている。 ・市街地景観保存区域保存会補助金の制度運用については今後も改善を図るとともに、保存会活動が充実するよう調整に努める。
次年度以降の考え方(担当課)	・景観重要建造物の積極的な指定及び保存・活用を推進する。 ・市街地景観保存区域の拡大に向けて、地域住民との合意形成に向けた協議を進める。 ・各種補助制度について、交付条件や対象範囲について見直しによる効果を検証する。 ・市街地景観保存区域保存会補助金の制度運用について改善を図る。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・市街地景観保存区域保存会補助金 11件 ・景観重要建造物修景事業補助金 0件 ・市街地景観保存区域建造物修景事業補助金 6件 ・高山の景観にふさわしい看板補助金 3件 ・景観形成事業(塀等設置)補助金 3件 ・生け垣等設置補助金 0件
評価等	・各種補助制度を活用した修理・修景事業等により、景観の保全や改善が図られた。 ・昨年度に引き続き、景観重要建造物については実施事業がなく、生け垣等設置についても申請がなかった。 ・市街地景観保存区域保存会補助金の制度運用については、今後も改善を図るとともに、保存会活動が充実するよう調整に努める。
次年度以降の考え方(担当課)	・景観重要建造物の積極的な指定及び保存・活用を推進する。 ・市街地景観保存区域の拡大に向けて、地域住民との合意形成に向けた協議を進める。 ・各種補助制度について、交付条件や対象範囲について見直しによる効果を検証する。 ・市街地景観保存区域保存会補助金の制度運用について改善を図る。

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	20,340
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
19,880	20,340	20,340	0
5,030	5,230	5,230	0
30	30	30	0
14,820	15,080	15,080	0
査定額	説明		
1,600			
2,270			
1,800			
2,000			
12,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・景観保全に資する事業の助成に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

34_都市計画課.xlsx_7

74510

事業シート(令和6年度決算)

34_都市計画課.xlsx_8

事業名	74520 無電柱化整備事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	景観計画、歴史的風致維持向上計画
					款	7	土木費			ポイント			
					項	4	都市計画費		分野別	政策分野		市長公約	
					目	4	景観保全総務費			施策分野			
担当課	都市政策部 都市計画課			内線	2313								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・無電柱化の推進により、防災性の向上、安全・円滑な交通の確保、良好な景観の創出を図る。	概要	・無電柱化整備の実施
----	---	----	------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
「町並み景観や農山村景観など地域の美しい景観が保たれている」と感じる市民の割合	73.4%	76.1%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		287,000	243,175	130,000	130,000	124,411	△ 118,764
特定財源	国費 (街なみ環境整備事業 1/2)	117,650	106,776	58,000	58,000	61,200	△ 45,576
	県費 ()						
	その他(まちなみ環境整備事業負担金、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	102,000	95,893				△ 95,893
一般財源		67,350	40,506	72,000	72,000	63,211	22,705
新規・拡充	主な事業内容						
	無電柱化の推進	287,000	243,175	130,000	130,000	124,411	△ 118,764

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・上ー之町花里線 2-2工区電線共同溝本体工事 1-1工区入線抜柱完了、修景工事 2工区 外灯修景工事
評価等	・1-1工区については、前年度に終わらなかった入線抜柱が完成し7月までに側溝、舗装、地上器の修景工事を完了した。 ・2-2工区の電線共同溝本体工事については、12月までに工事を完了し、2工区の外灯修景工事までを年度内に完了した。
次年度以降の考え方(担当課)	・1工区については完成となった。R6の2工区完成に向けて入線抜柱や景観向上などを図るための道路美装化工事も並行して事業を推進する。 ・無電柱化整備箇所の次期計画箇所の選定を進める。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☒ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・上ー之町花里線 2工区 入線抜柱完了、修景工事完了
評価等	・1工区はR5に完了、残りの2工区についても、入線抜柱を行い修景工事までを完了し、上ー之町花里線の無電柱化整備を完了した。
次年度以降の考え方(担当課)	・予定箇所の事業を完了した。 ・今後の無電柱化整備路線の検討並びに事業者との調整を進める。 ☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☒ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	0
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)-(c)
0			△ 130,000
0			△ 58,000
0			△ 72,000
要求額	説明		
0	上ー之町花里線令和6年完了		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	
市長査定の 考え方	

事業シート(令和6年度決算)

34_都市計画課.xlsx_9

事業名	74600 公園管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	緑の基本計画、過疎地域持続的発展計画
			款	7	土木費			ポイント	(1)	自分らしく充実して暮らせる環境づくり		
			項	4	都市計画費			政策分野	3	都市基盤・防災・景観		
			目	5	公園管理費			施策分野	(3)	住宅・公園・景観		
担当課	都市政策部 都市計画課	内線	2313	市長公約 やさしく！～周りを敬うやさしさ～ 乳幼児から高校生まで、時代に合った子育て環境を提供します								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民や観光客が公園やまちかどスポットなどを安全・安心・快適に利用できるよう管理し、潤いとやすらぎを感じることができるまちづくりを推進する。	概要	・都市公園及び地区公園の改修と維持管理 ・まちかどスポットの維持管理 ・市道の街路樹の維持管理 ・駅前広場等の維持管理
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
住民一人当たりの都市公園面積	9.6㎡	9.6㎡	10㎡
「身近に憩える公園があり、快適な住宅環境が整っている」と感じている市民の割合	30.1%	42.7%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		205,094	201,075	371,934	373,424	360,324	159,249
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(夢・まちづくり基金繰入金、飛騨高山ふるさと基金繰入金 等)	45,900	49,030	166,920	166,920	174,120	125,090
一般財源		159,194	152,045	205,014	206,504	186,204	34,159
新規・拡充	主な事業内容						
	指定管理施設の管理運営	27,870	27,315	28,340	29,830	28,555	1,240
	直営管理施設の管理運営	105,924	105,578	112,494	112,494	111,368	5,790
○ 1・2	施設整備	71,300	68,182	231,100	231,100	220,401	152,219

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	242,684
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
279,293	242,684	242,684	△ 129,250
1,900	11,900	47,900	△ 119,020
277,393	230,784	194,784	△ 10,230
査定額	説明		
29,960			
118,124			
94,600	公園施設長寿命化整備計画の策定ほか		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・都市公園 36か所 及び 地区公園 34か所の維持管理 ・まちかどスポット 107か所 及び 街路樹 49路線の維持管理 ・城山公園二之丸公衆便所改築工事 ・赤保木公園複合遊具等設置工事 ・原山市民公園大型複合遊具等設計 および設置業者決定
評価等	・城山公園二之丸公衆便所改築工事により老朽施設を改修した。 ・赤保木公園には新たな遊具(インクルーシブ)を追加設置した。 ・原山市民公園大型複合遊具等設置における業者を公募型プロポーザルにより決定した。 ・公共施設等総合管理計画に基づき、コスト縮減を図りつつ適正に管理するとともに国府地区の譲渡施設について協議を開始した。
次年度以降の考え方(担当課)	・遊具、植栽等の公園施設の点検を継続的に行之い、安心して快適に利用できるよう、適正に維持管理する。 ・利用者等のニーズを踏まえた公園施設の整備を行うとともに、公園の適正配置並びに再整備等について検討をすすめる。 ・公共施設等総合管理計画に基づき、公園の譲渡について協議を進める。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・都市公園 36か所 及び 地区公園 34か所の維持管理 ・まちかどスポット 107か所 及び 街路樹 49路線の維持管理 ・赤保木公園再整備工事 ・原山市民公園大型複合遊具等設計 および設置工事並びに再整備工事 ・北山公園公衆便所改修工事設計
評価等	・赤保木公園の再整備を行いR6.7月にプールとともにリニューアルオープンした。 ・原山市民公園大型複合遊具等設置工事、並びに公園施設再整備工事を行いR7.3月にリニューアルオープンした。 ・北山公園公衆便所の改修に伴う、施設の検討並びに建築設計を実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	・赤保木公園や原山市民公園のようにシンボリックな公園施設整備が進められるよう長寿命化整備計画による計画的な整備を進める。 ・北山公園公衆便所の改修工事を進める。 ・遊具、植栽等の公園施設の点検を継続的に行之い、安心して快適に利用できるよう、適正に維持管理する。 ・公共施設等総合管理計画に基づき、公園の譲渡について協議を進める。 ☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・都市公園・地区公園の長寿命化整備計画の策定に必要な経費を計上 ・あらかぎ公園の再整備に必要な経費を計上 ・友好の丘の再整備に必要な経費を計上 ・北山公園公衆トイレ改修工事に必要な経費を計上 ・原山市民公園のリニューアルに伴う渋滞等対応に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・友好の丘の再整備は0査定 ・あらかぎ公園の再整備は内容を精査
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	74600 公園管理事業費	区分	☒ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	都市計画課
			☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	7	土木費		
枝番・内容	1 原山市民公園複合遊具等整備工事		☐ その他重要事業			項	4	都市計画費	内線	2313
			☐			目	5	公園管理費	作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民や観光客が公園やまちかどスポットなどをあんぜん・安心・快適に利用できるよう管理し、潤いやすらぎを感じることができるまちづくりを推進する。 ・子育て環境の充実を推進するためのこどもの遊び場を確保する。	概要	・急務となっている子育て環境の充実の一環として既存公園への遊具の整備を行う。
----	---	----	--

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点 (千円)

予算額	当初	170,000
主な経費	・大型複合遊具等整備工事費(130,000)	
	・付帯設備工事費(40,000)	
対前年度増減額(当初予算)		170,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	170,000
	繰越	
	補正等	
	最終	170,000
決算額		170,333
対前年度増減額(決算)		170,333

R7当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降の考え方(担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・大型複合遊具等設置工事 一式 ・公園施設再整備工事 一式	
[スケジュール] R5 プロポーザルによる遊具施設の決定 R6 大型遊具の設置、付帯設備の整備 R7.3 リニューアルオープン	

事業実績、評価等	
[事業実績] ・原山市民公園大型複合遊具等設計及び設置工事完了 ・原山市民公園公園施設再整備工事完了	
[評価等] ・高山市では最大規模の大型複合遊具の設置と公園の再整備が完了し、3月末にリニューアルオープンできた。	
次年度以降の考え方(担当課)	今後は、市内の公園について、長寿命化整備計画に基づいた再整備を進める。 ☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☒ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	74600	公園管理事業費	区分	☒ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	都市計画課	
				☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	7	土木費			
枝番・内容	2	北山公園公衆トイレ改修		☐ その他重要事業			項	4	都市計画費	内線		2313
				☐			目	5	公園管理費	作成年月		R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・都市公園を利用する市民及び観光客の増加に対し、公園施設を充実させることで公園利用の活性化を図る。	概要	・安全で快適に利用できる公園施設の充実及び新たな公園施設の整備
----	---	----	---------------------------------

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点 (千円)

査定額	当初	5,000
主な経費	委託料(測量・設計)	
対前年度増減額(当初予算)		5,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	5,000
	繰越	
	補正等	
	最終	5,000
決算額		3,114
対前年度増減額(決算)		3,114

R7当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	51,000
主な経費	委託料(工事監理) 工事請負費	
対前年度増減額(当初予算)		46,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・北山公園の公衆トイレをインバウンド需要などに対応するために改修を行う。 ・トイレ改修にあたり、下水道整備区域外であること等を踏まえ、バイオトイレによる改修を行う。	
[スケジュール] R6 トイレ基本設計・詳細設計	

事業実績、評価等	
[事業実績] ・北山公園公衆便所改修工事設計業務完了	
[評価等] ・北山公園公衆便所の汚水処理方式を決定し、建築設計を完了することができた。	
次年度以降 の考え方 (担当課)	北山公園公衆便所については、 早期に工事発注を行いR7年度 内の完成を目指す。 ☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☒ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・北山公園公衆便所改修工事(汲取式トイレを循環式バイオトイレに改修) ・公衆便所改修に伴う外構工事	
[スケジュール] R7年7月 工事発注 R8年3月 完成	